

## **第 2 章 沖縄県の医療の現状**



# 1 人口

## 第1 人口の推移

令和2年国勢調査における本県の人口は 1,467,480 人で、平成 27 年国勢調査から 33,914 人(2.4%)増加しました。全国では、0.7%の減少となりましたが、本県は 2.4%増加し、全国で 2 番目に高い増加率となっています。

年齢(3区分)別人口で見ると、15 歳未満人口は 16.6%となっており全国では最も高い割合となっていますが、昭和 35 年の 41.6%をピークに減少を続けています。15 歳～64 歳人口は 60.8%となっています。

65 歳以上は 23%ですが、人口数は昭和 30 年から増加し続けており、2015 年から 14 歳以下人口を上回っています。

国立社会保障・人口問題研究所が行った人口推計では、本県は 2025 年から総人口が減少し、2025 年には約4人に 1 人、2050 年には約3人に1人が高齢者となると推計されています。本県は令和2年(2020 年)から令和 32 年(2050 年)にかけての高齢者人口の伸びが全国で最も高く、令和 7 年(2025 年)には令和2年(2020 年)時点の人口の 1.09 倍、令和 32 年(2050 年)には 1.41 倍に増加すると見込まれており、今後急速に高齢者人口が増加していきます。

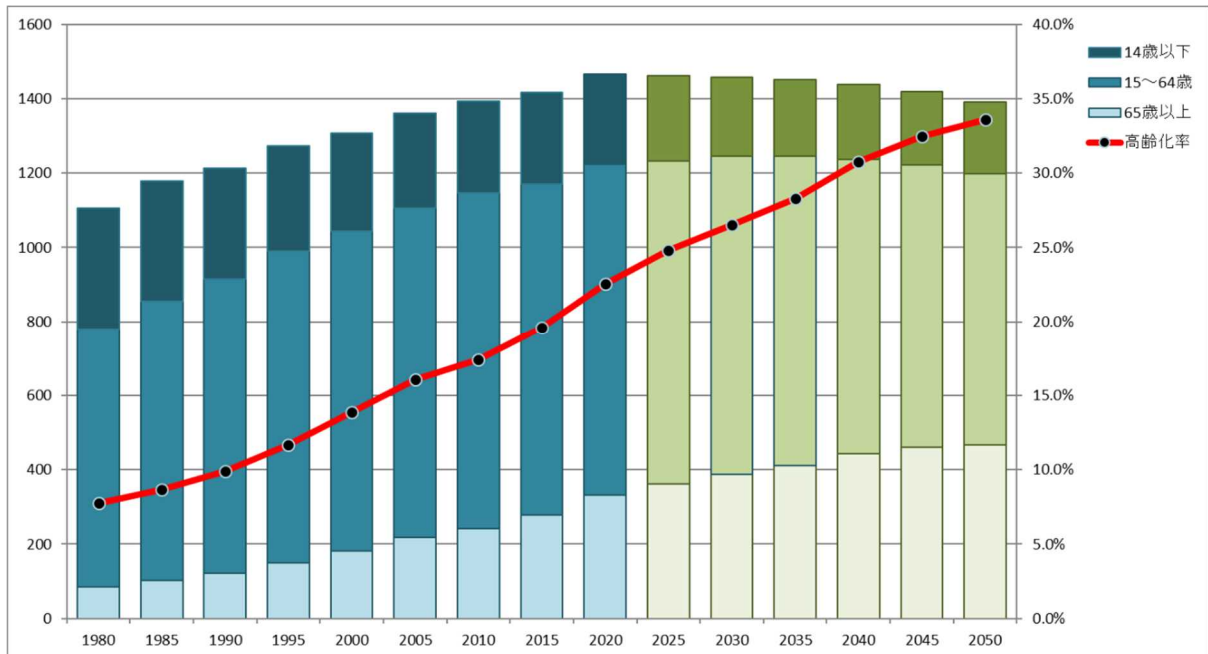


図1 沖縄県の人口推移

※1980年～2020年は国勢調査人口

※2025年～2050年は国立社会保障・人口問題研究所人口推計

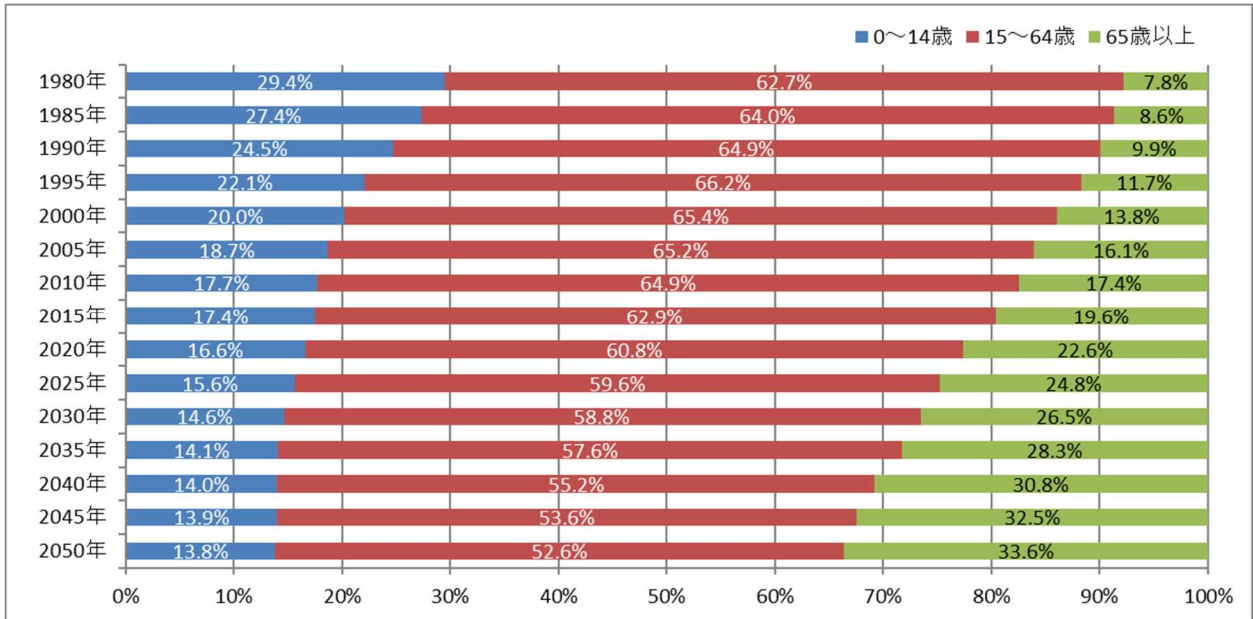
表1 沖縄県の人口推移

	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
総人口	1,106,559	1,179,097	1,222,398	1,273,440	1,318,220	1,361,594	1,392,818	1,417,652	1,467,480	1,462,068	1,458,604	1,450,619	1,438,171	1,418,775	1,391,013
65歳以上	85,819	101,947	121,082	148,567	182,557	218,897	242,510	278,337	331,404	362,595	387,167	410,470	442,764	460,563	467,696
15～64歳	694,174	754,119	793,287	842,752	861,826	888,046	903,793	892,109	892,133	870,970	858,365	835,943	794,188	760,373	731,708
14歳以下	325,393	322,523	299,836	281,302	264,279	254,203	246,515	247,206	243,943	228,503	213,072	204,206	201,219	197,839	191,609
高齢化率	7.8%	8.6%	9.9%	11.7%	13.8%	16.1%	17.4%	19.6%	22.6%	24.8%	26.5%	28.3%	30.8%	32.5%	33.6%

(単位:人、%)

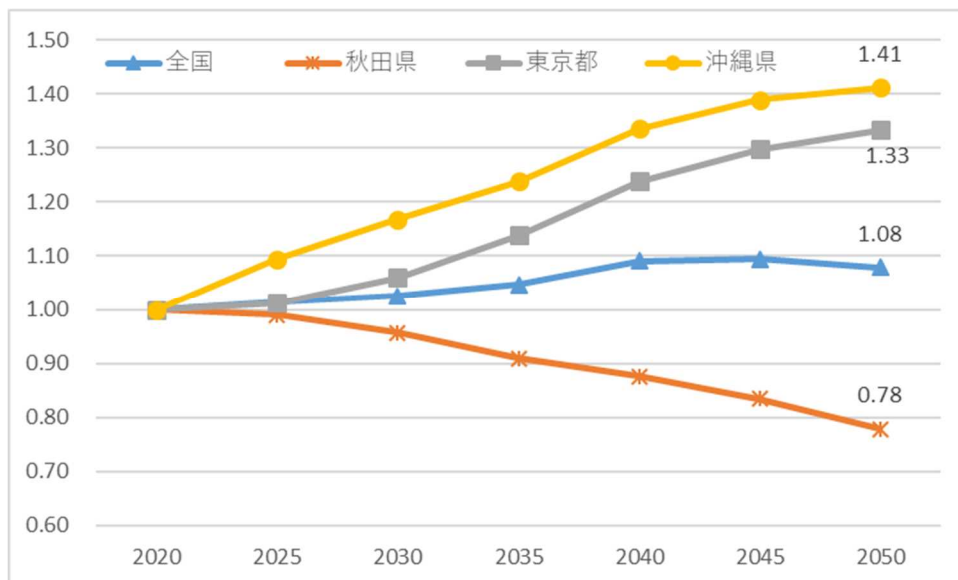
※国勢調査人口

図2 年齢(3区分別)人口推移



※国勢調査人口

図3 高齢者人口の将来推計(2020年の人口を1としたときの指数)



※国立社会保障・人口問題研究所 推計人口

## 第2 人口動態

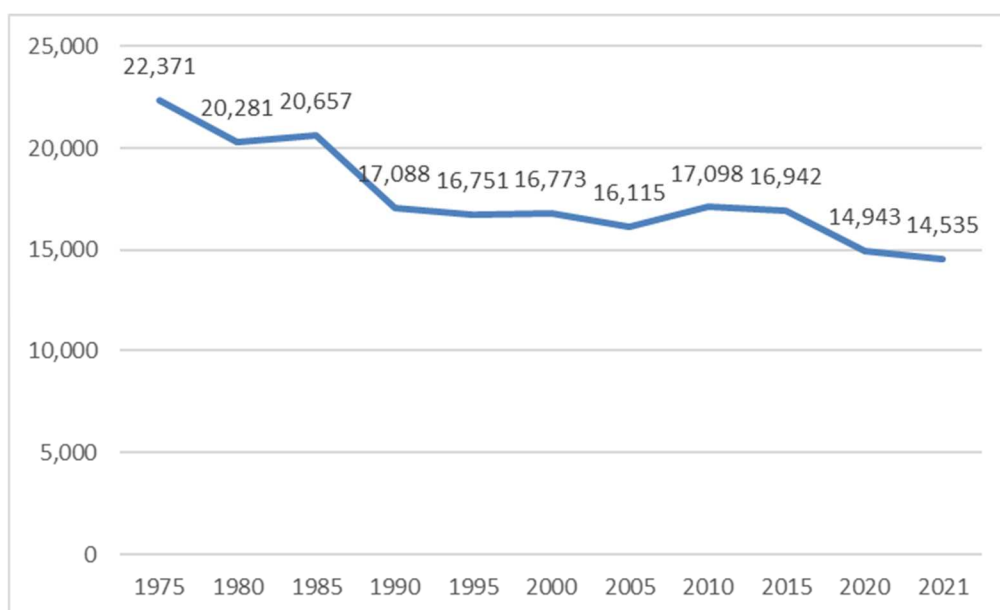
### 1 出生

本県の出生数は減少傾向にあり、昭和50年(1975年)の22,371人/年から令和3年(2021年)は14,535人/年となり、7,836人/年の減となり約35%減少しています。

合計特殊出生率(1人の女性が生涯に出産するであろう子どもの数に相当)は、昭和50年(1975年)の2.88から1.95へ低下していますが、本県は昭和50年(1975年)以降、全国第1位と最も高い数となっています。

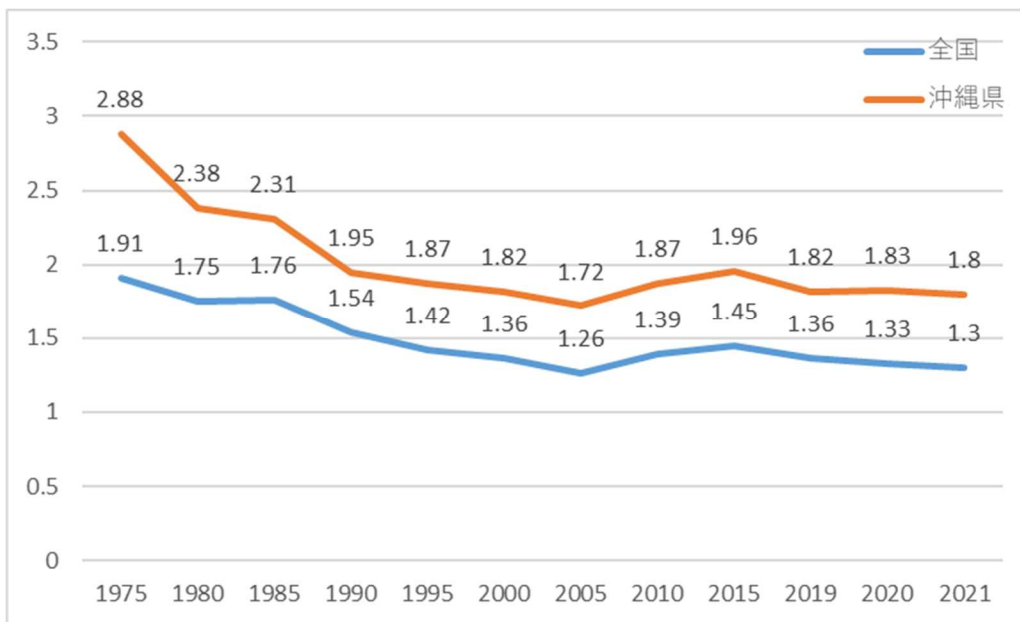
図4 出生数

(単位:人)



※人口動態調査

図5 合計特殊出生率



※人口動態調査

## 2 死亡

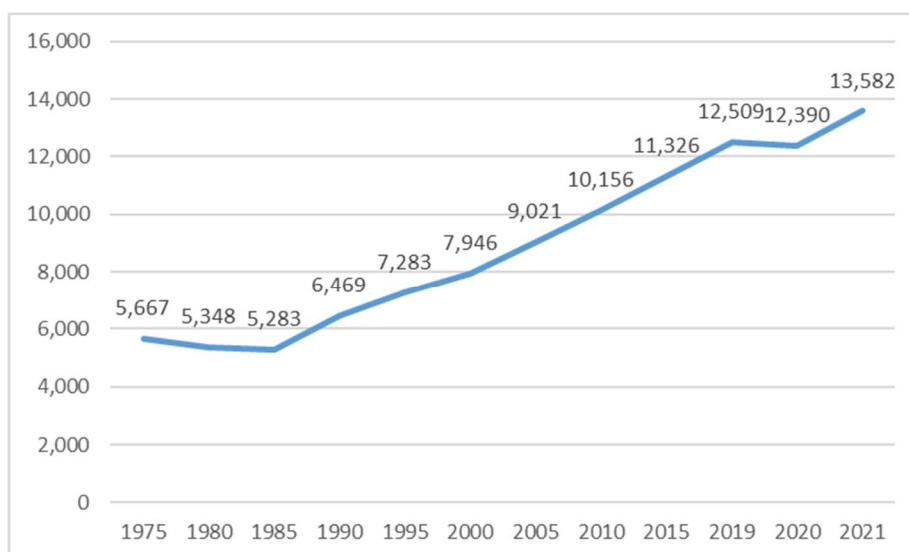
死亡数は、高齢者人口の増加を一因として増加傾向にあり、令和3年(2021年)は13,582人となっています。

年齢階級別で見ると、85歳以上の高齢者の死亡率が全国で最も低い一方、35歳から69歳の各年齢階級では男女ともに全国でも高い死亡率となっています。

年齢調整死亡率は、男女とも全国平均を上回っていますが、その差が縮まってきています。

図6 死亡数

(単位:人)



※人口動態調査

表2 年齢階級別の死亡率(令和2年)

(人口10万人対)

		年齢階級別死亡率																			
		0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-
男	値	75.9	0	7.2	22.5	48.1	38.3	70.6	97.8	203.3	255.7	393.3	639.5	924.5	1,456.9	1,820.7	3,230.6	5,325.6	9,348.1	15,033	29,833
	順位	42	1	17	13	16	4	31	44	47	47	47	46	45	44	10	17	6	1	1	10
女	値	61.2	2.4	7.4	7.9	35.2	13.6	33.4	57.3	93.4	142.3	221	247.5	386.7	496.3	756.7	1,447.6	2,606.5	5,088.7	9,482.8	22,669
	順位	43	7	27	6	39	6	31	41	44	43	47	36	44	19	12	25	5	1	1	1

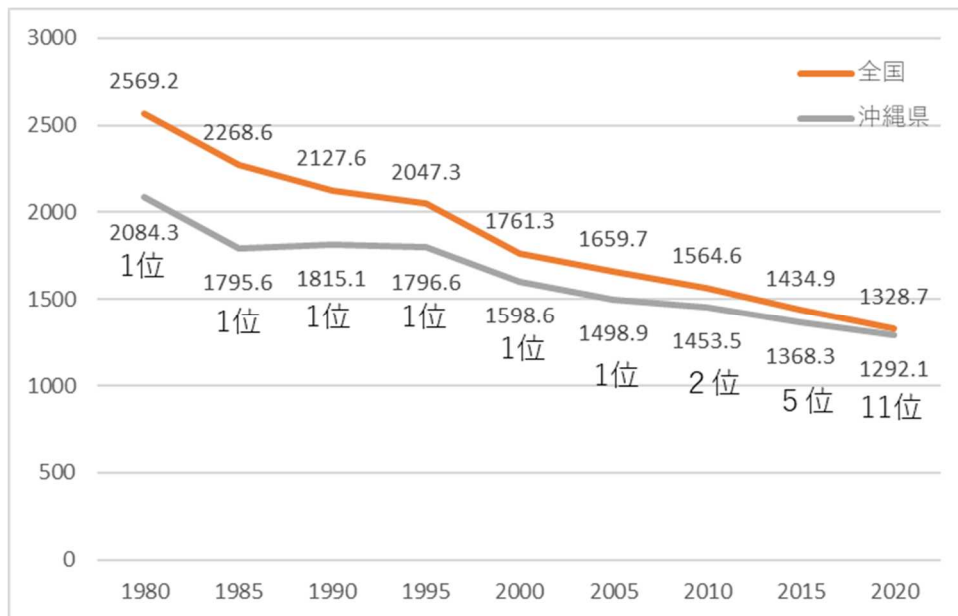
※人口動態調査特殊報告

※順位は死亡率が高い順

※青:上位5位以内、赤:ワースト5位以内

図7 年齢調整死亡率(男性)令和2年

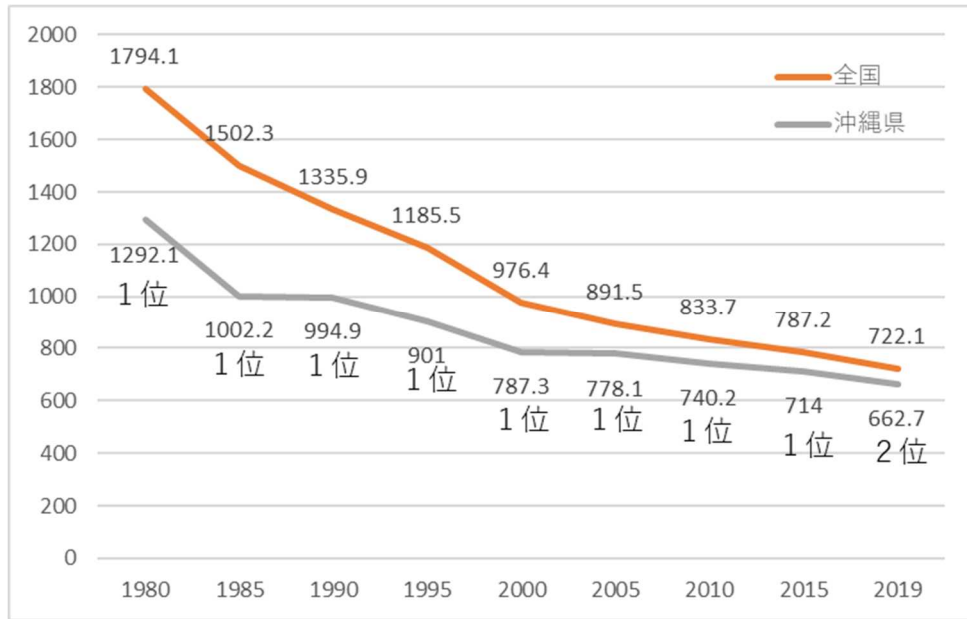
(人口10万人対)



※人口動態調査特殊報告

図8 年齢調整死亡率(女性)令和2年

(人口10万人対)



※人口動態調査特殊報告

### 3 平均寿命の推移

令和2年(2020年)の都道府県別生命表によると、本県の平均寿命は、男性が80.73年(全国:81.49年)、女性が87.88年(全国:87.6年)となっています。女性は平成17年(2005年)まで全国第1位でしたが、平成22年(2010年)に順位を落とし第3位となり令和2年(2020年)は第16位となっています。男性は平成2年(1990年)に第5位となった後、平成12年(2000年)に初めて全国平均を下回り第26位に急落し、令和2年(2020年)は第43位となっています。

図9 平均寿命の推移(令和2年)

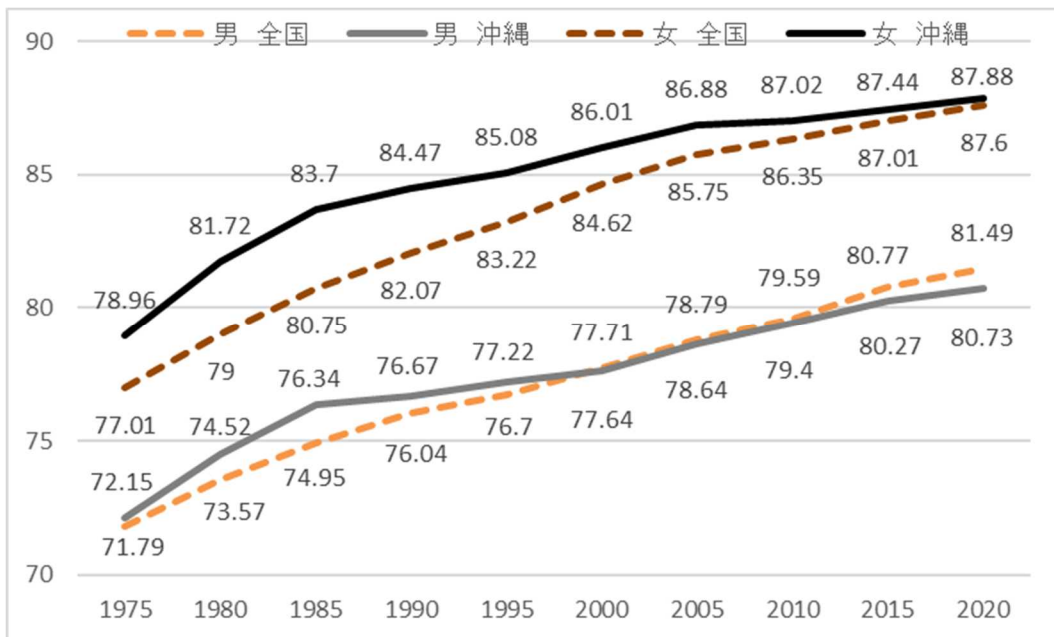




表3 沖縄県の平均寿命の全国順位

	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
男性	10	1	1	5	4	26	25	29	36	43
女性	1	1	1	1	1	1	1	3	7	16

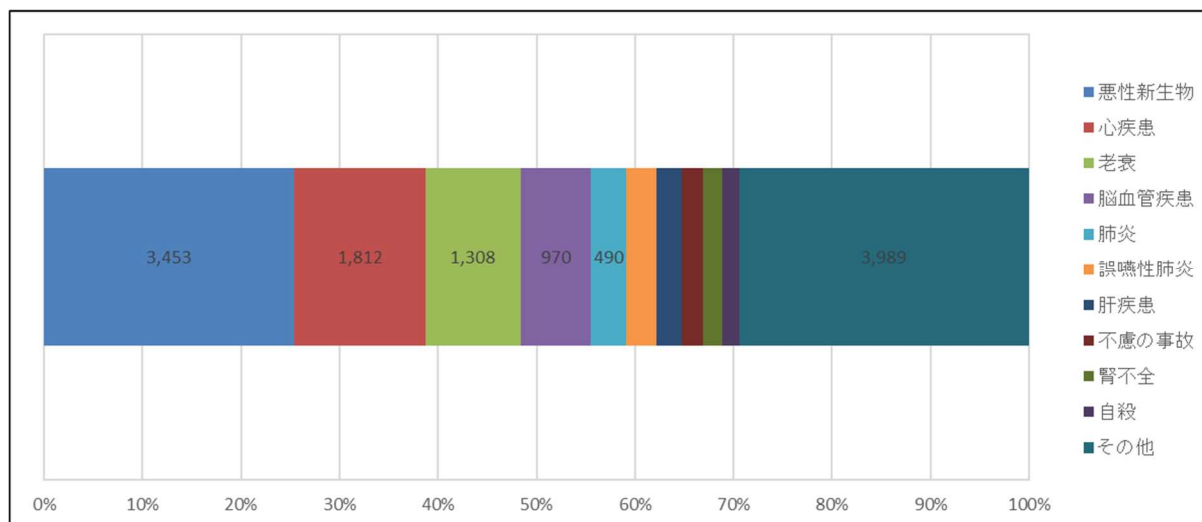
※厚生労働省「都道府県別生命表」

#### 4 死亡原因

死亡原因は、悪性新生物と心疾患が第1位と第2位となっており、死亡数は平成9年(1997年)以降、増加傾向にあります。第3位は老衰、第4位が脳血管疾患、第5位が肺炎となっています。

死亡原因ごとの年齢調整死亡率は、男性は肝疾患が全国ワースト、続いて糖尿病が下から2番目と死亡率が全国でも高い値となっています。女性は子宮がん、糖尿病が全国ワースト、肝疾患が下から2番目の死亡率となっています。

図10 本県の死因別死亡数(令和3年(2021年))

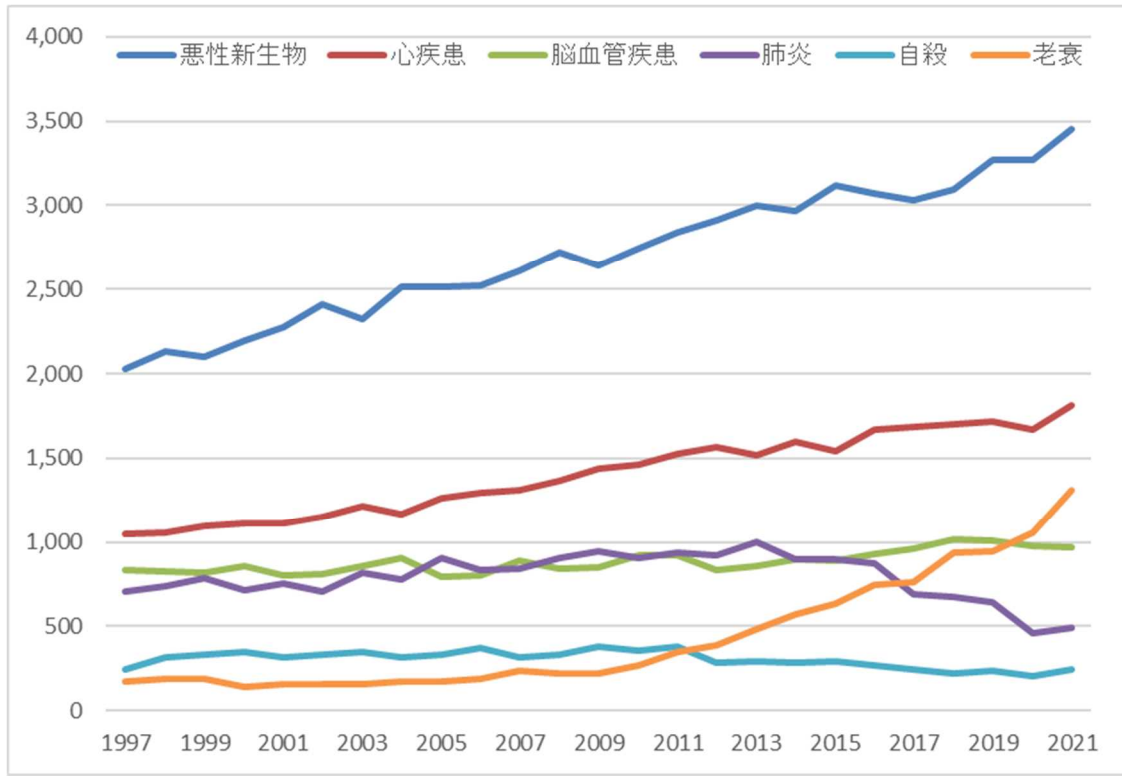


	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	
総数	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎	誤嚥性肺炎	肝疾患	不慮の事故	腎不全	自殺	その他
13,582	3,453	1,812	1,308	970	490	411	345	296	261	247	3,989
100%	25.4%	13.3%	9.6%	7.1%	3.6%	3.0%	2.5%	2.2%	1.9%	1.8%	29.4%

※人口動態調査

図 11 主な死因別死亡数の推移

(単位:人)

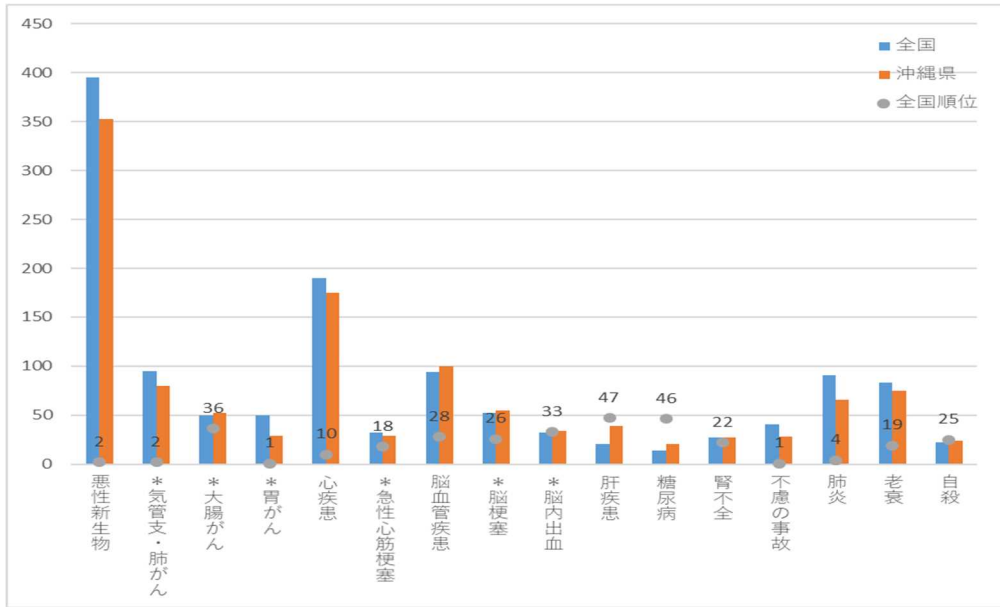


	1997	1999	2001	2003	2005	2007	2009	2011	2013	2014	2015	2017	2019	2021
悪性新生物	2,028	2,101	2,275	2,325	2,516	2,613	2,643	2,837	3,001	2,965	3,122	3,034	3,271	3,453
心疾患	1,045	1,094	1,113	1,216	1,260	1,314	1,437	1,530	1,518	1,600	1,544	1,686	1,716	1,812
脳血管疾患	832	815	798	856	792	887	848	917	855	893	885	957	1,008	970
肺炎	704	787	751	816	903	839	944	935	997	899	900	689	641	490
自殺	242	332	312	350	328	319	383	379	292	287	294	243	236	247
老衰	172	191	158	155	176	237	222	347	483	572	632	761	948	1,308

※人口動態調査

図 12 死因別の年齢調整死亡率(男性)令和2年

(人口 10 万人対)

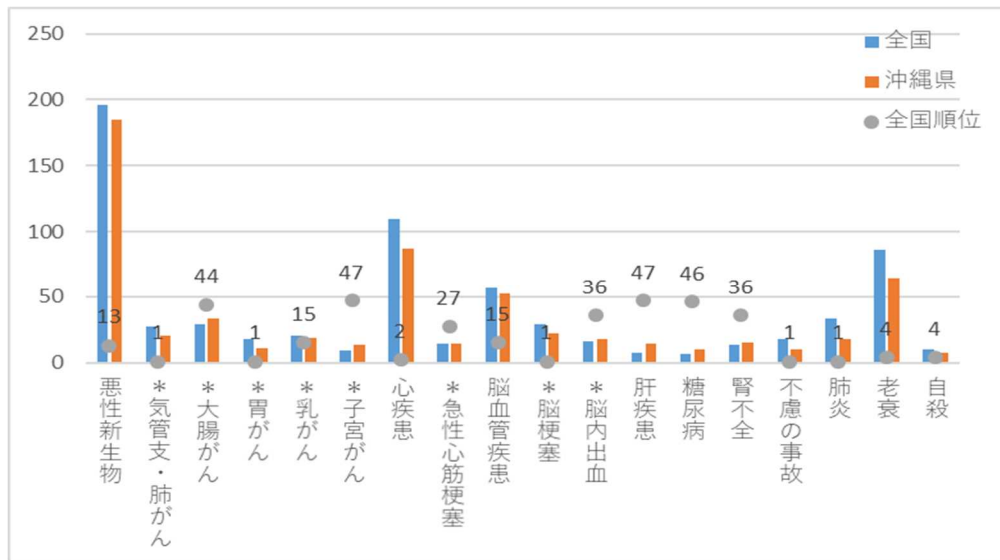


男性	悪性新生物	*気管支・肺がん	*大腸がん	*胃がん	心疾患	*急性心筋梗塞	脳血管疾患	*脳梗塞	*脳内出血	肝疾患	糖尿病	腎不全	不慮の事故	肺炎	老衰	自殺
全国	394.7	94.3	49.4	49.6	190.1	32.5	93.8	52.5	31.9	20.2	13.9	27.3	40.8	90.1	82.7	22.6
沖縄県	352.9	79.6	52.3	29	175.1	28.9	99.9	55.1	33.6	39.2	20.8	26.9	27.8	65.4	74.8	24
全国順位	2	2	36	1	10	18	28	26	33	47	46	22	1	4	19	25

※人口動態調査特殊報告

図 13 死因別の年齢調整死亡率(女性)令和2年

(人口 10 万人対)



女性	悪性新生物	*気管支・肺がん	*大腸がん	*胃がん	*乳がん	*子宮がん	心疾患	*急性心筋梗塞	脳血管疾患	*脳梗塞	*脳内出血	肝疾患	糖尿病	腎不全	不慮の事故	肺炎	老衰	自殺
全国	196.4	27.3	29.2	17.5	20.6	9.6	109.2	14	56.4	29.3	16.3	7.7	6.9	13.5	18.2	33.4	85.8	10.3
沖縄県	184.9	20.8	33.6	10.9	18.6	13.8	87.1	14.2	52.4	22	18.3	14.4	9.7	15.5	9.7	17.9	64.8	7.2
全国順位	13	1	44	1	15	47	2	27	15	1	36	47	46	36	1	1	4	4

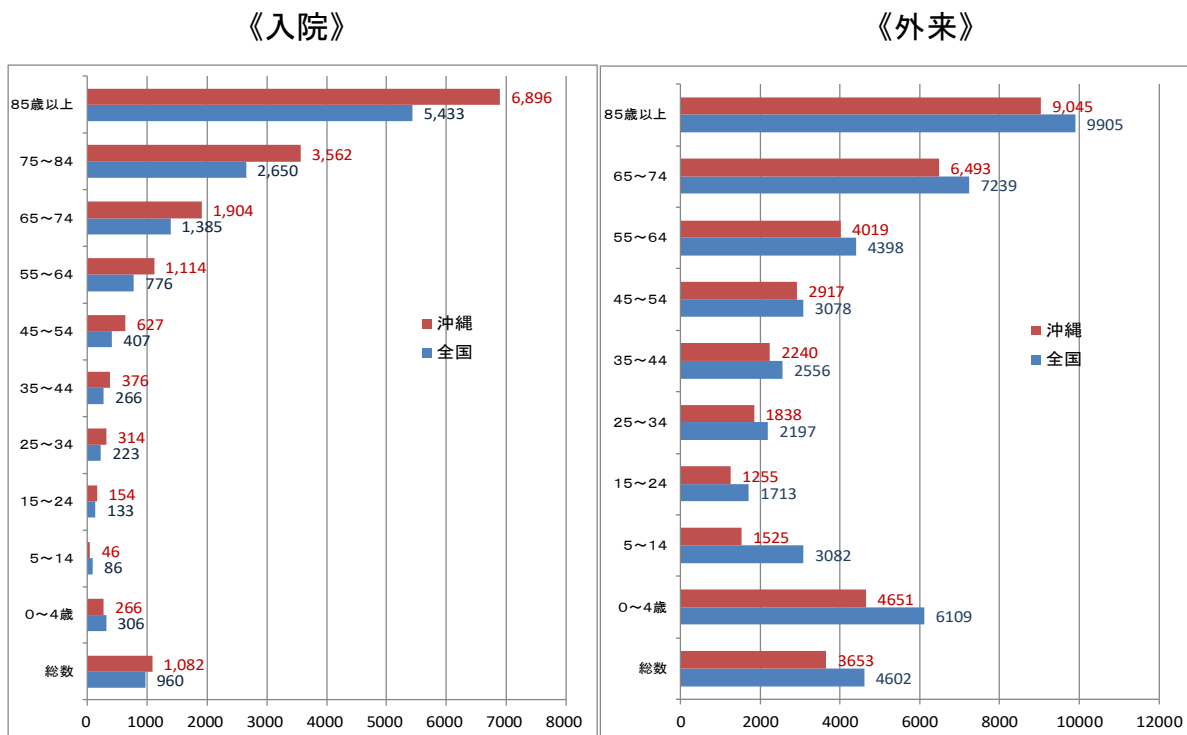
※人口動態調査特殊報告

### 第3 疾病・受療の動向

令和2年の患者調査によると、本県は入院受療率(人口10万人対)は、15歳以上の各年齢階級で全国より高く、総数では全国の1.12倍であり、年齢階級別では45歳～54歳と55歳～64歳が特に高く、全国の約1.5倍となっています。一方で外来受療率(人口10万人対)は全ての年齢階級で全国より低く、総数では全国の0.79倍となっています。

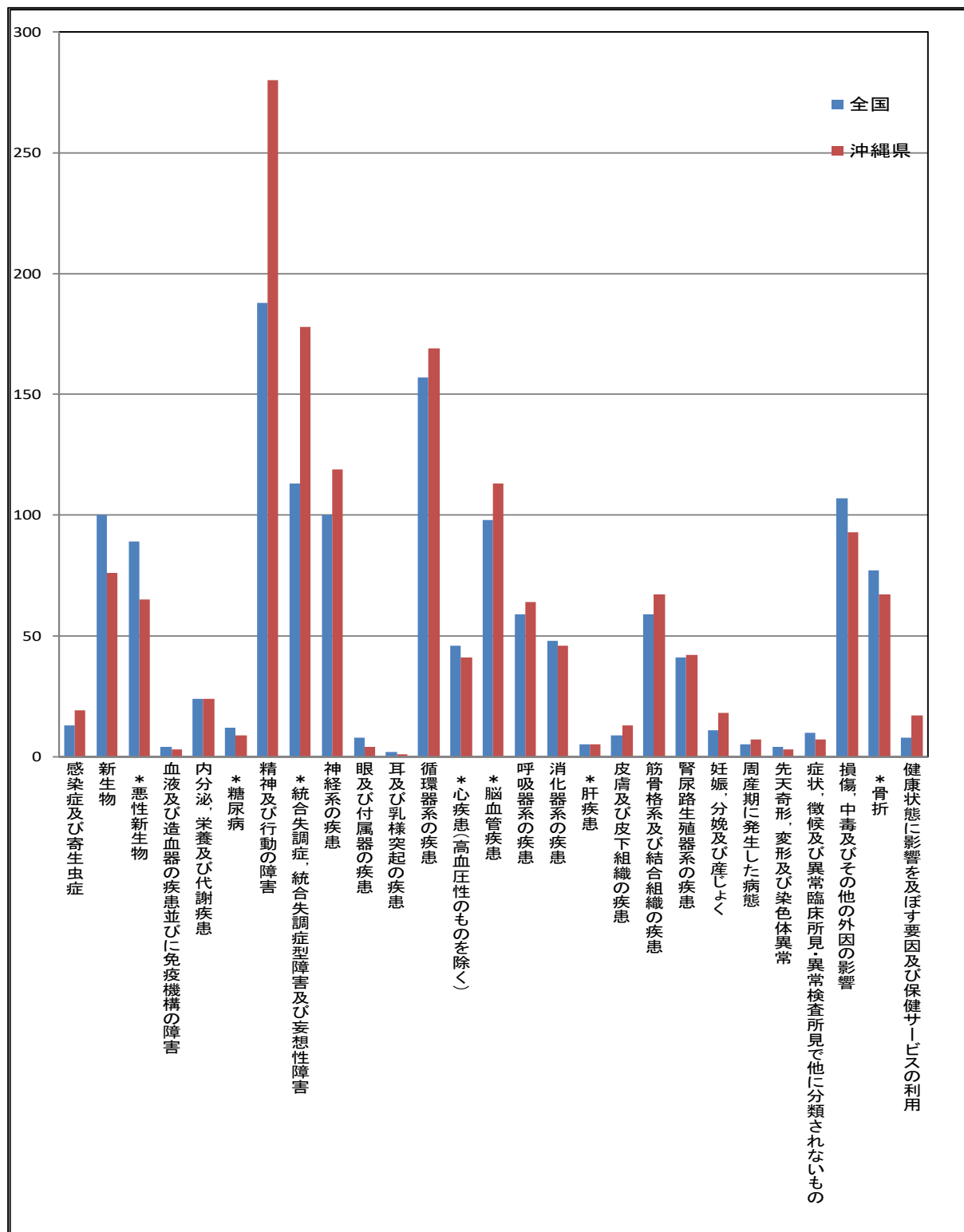
傷病(大分類)別の入院受療率(人口10万人対)は、「精神及び行動の障害」が最も多く、次いで「循環器系の疾患」、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」の順となっています。全国受療率と比較すると、「新生物」は全国を下回っていますが、「精神及び行動の障害」、「呼吸器系の疾患」、「腎尿路生殖器系の疾患」などで全国平均を上まわっています。

図14 年齢階級別入院、外来受療率(人口10万人対)(歯科除く)



※令和2年患者調査

図 15 傷病別の入院受療率(人口 10 万人対)(歯科除く)



※令和2年患者調査(「\*」は再掲)

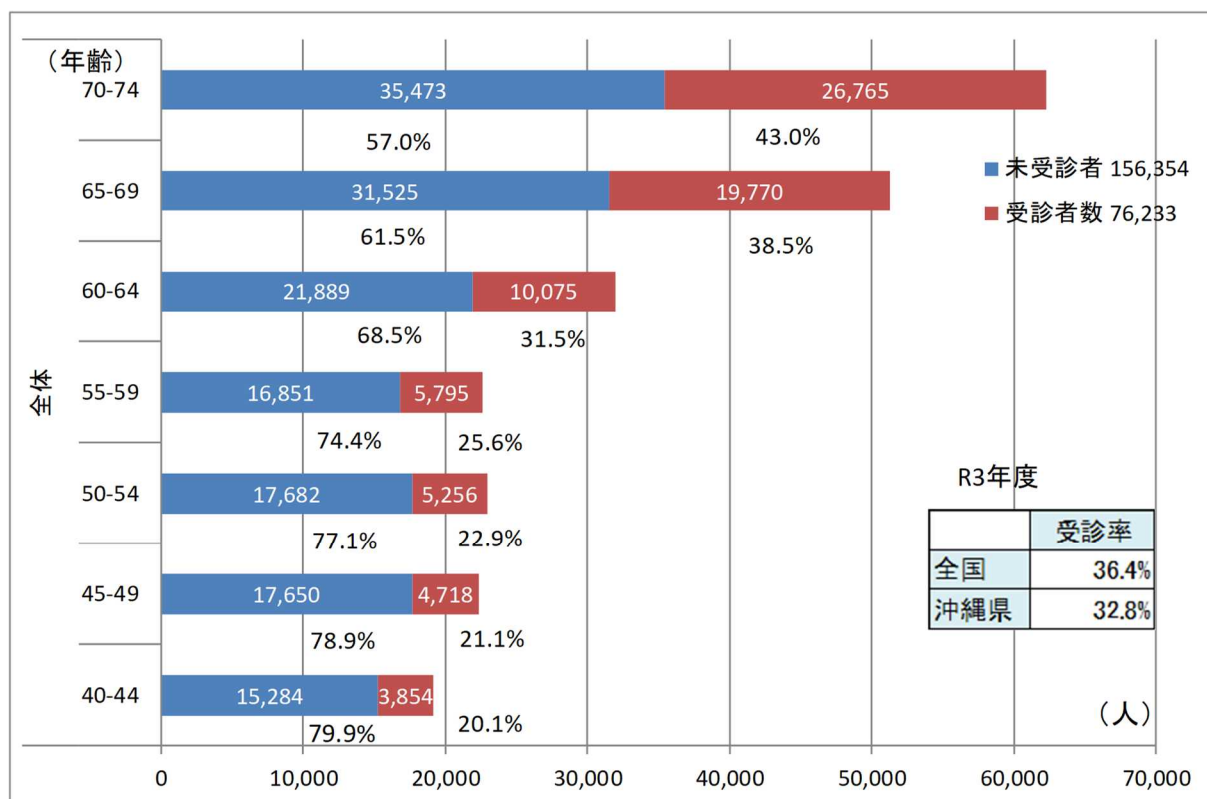
## 第4 特定健診の結果

日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防や早期発見、早期治療のために、40歳から74歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健診を行っています。

令和3年度の沖縄県市町村国保における特定健診受診率は32.8%となっており、特に40歳代の受診率が約20%と低く、5人に4人が未受診者となっています。沖縄県協会けんぽの受診率は52.4%となっていますが、受診者の内訳は被保険者本人が68.4%、被扶養者は27.4%となっています。事業主には、従業員に健康診断を受診させる義務がありますので、被保険者本人は確実に受診する必要があります。

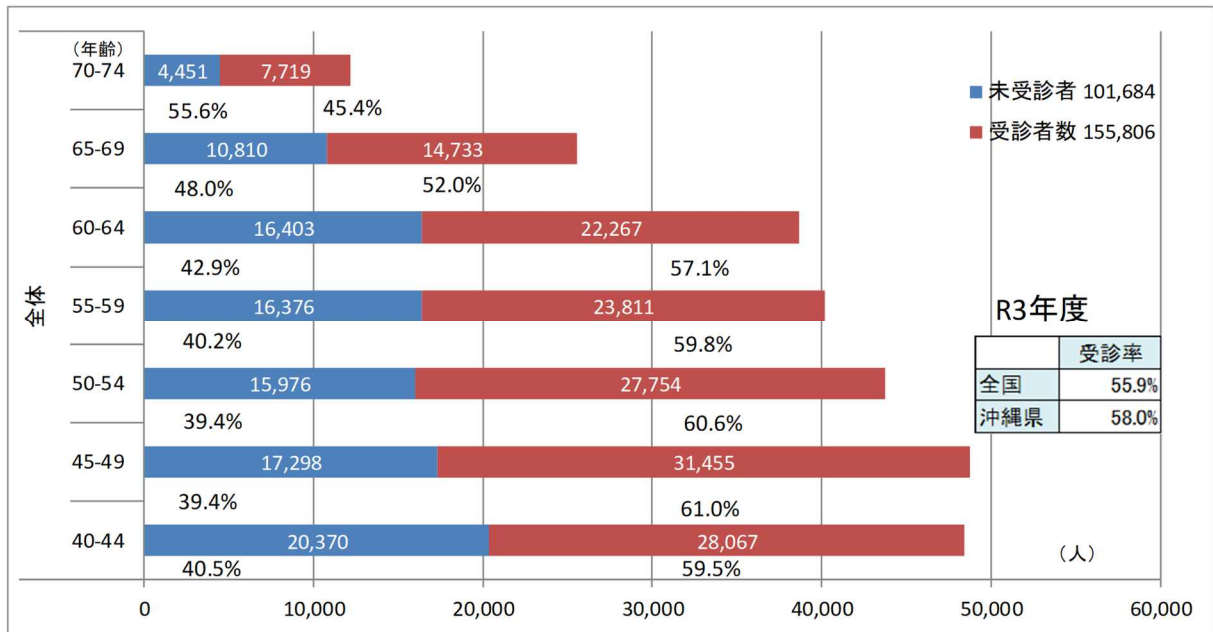
令和2年度の本県の特定健診による検査結果は、BMI(肥満)、空腹時血糖及びHbA1c(糖尿病)、中性脂肪及びHDLコレステロール(脂質異常症)の有所見率が全国を上まわっています。特に、BMI(肥満)の値が突出して高く、全国一高い数値となっています。

図16 特定健診受診率(令和3年度市町村国保)



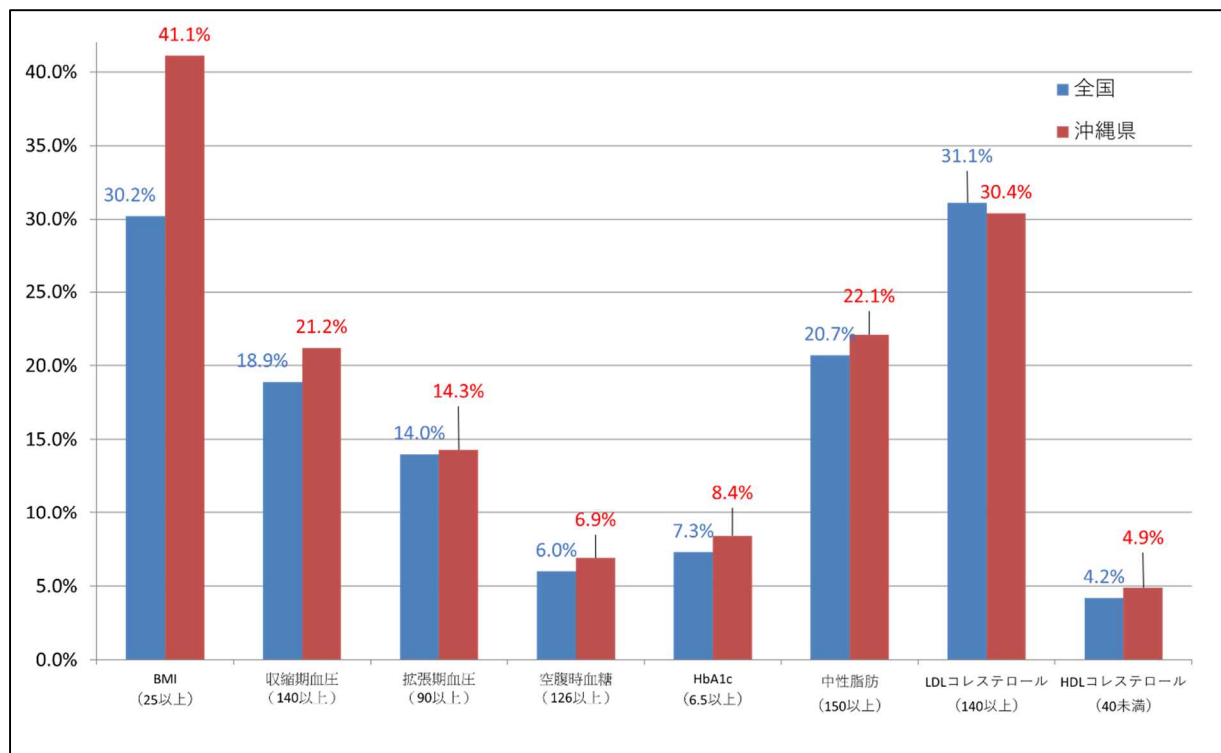
※国保連合会データ

図 17 特定健診受診率(令和3年度協会けんぽ)



※協会けんぽデータ

図 18 特定健診の有所見率



※令和2年度 NDB オープンデータ

## 第5 医療施設等の概況

### 1 病院

#### (1) 施設数

令和3年10月時点の病院数は89施設で、平成29年の94施設以降、施設数は減少しています。人口10万人あたりの数は6.1施設となっており、全国より0.4ポイント少なくなっています。

表4 病院の数(令和3年(2020年)10月) (単位:施設)

	沖縄県						全国
	北部	中部	南部	宮古	八重山		
実数	89	9	28	45	4	3	8,205
人口10万人対	6.1	8.9	5.5	6.1	7.5	5.5	6.5

※医療施設調査

※推計人口(令和3年10月)

#### (2) 病床数

令和3年の病院の病床数は18,605床であり、人口10万人あたりの数は1,274床で全国平均を上回る数が確保されています。病床種別ごとでは、療養病床と精神病床は全国平均以上、一般病床は全国平均以下の整備数となっています。平成29年(2017年)以降の病床種別ごとの数は、一般病床は9,621床から9,506床へと115床の減、療養病床は3,866床から3,739床へと127床の減、精神病床は5,412床から5,289床へと123床の減、結核病床は67床から47床へと20床の減、感染症病床は24床から増減なしとなっております。

表5 病院の病床数(令和3年(2021年)10月) (単位:床)

	沖縄県						全国
	北部	中部	南部	宮古	八重山		
実数	18,605	1,835	5,985	9,553	758	474	1,500,057
人口10万人対	1,274	1,813	1,168	1,293	1,419	875	1195

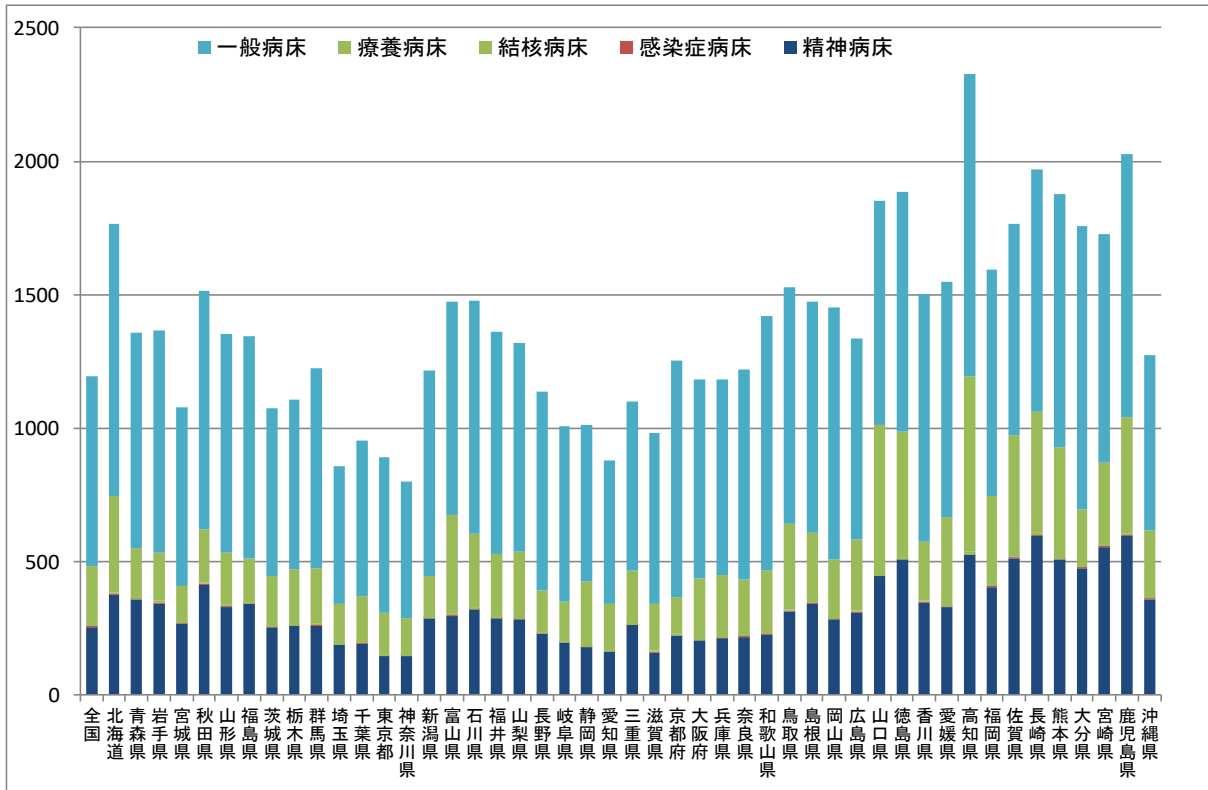
※医療施設調査

※推計人口(令和3年10月)



図 19 病院の病床数(人口 10 万人あたり)令和3年

(単位:床)

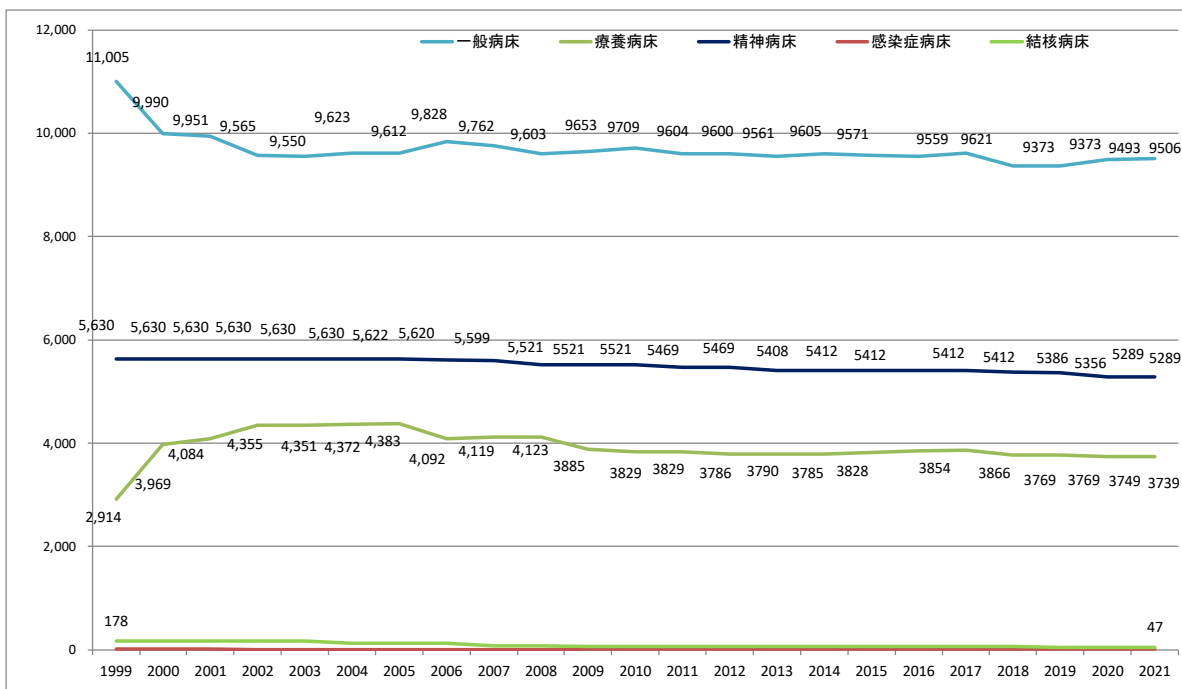


	一般病床	療養病床	結核病床	感染症病床	精神病床	計
全国	706	226.8	3.1	1.5	257.8	1195.2
沖縄県	647.5	254.7	3.2	1.6	360.3	1267.3

※医療施設調査

図 20 病院の病床数の推移

(単位:床)



※病院報告

### (3) 病床利用率

令和3年の病床利用率は、結核病床と介護療養病床以外の病床種別で全国平均を上回る利用率で病床が運用されており、全国 76.1%に対し沖縄県 81.3%と 5.2%高い利用率となっています。

平成 12 年(2000 年)以降、本県は全国より約5～7%ほど高い利用率で病床が運用されており、全国は低下傾向で 85.2%から 76.1%へと 9.1%低下しており、本県も平成 28 年(2016 年)から令和3年(2021 年)にかけて 87.6%から 81.3%へと 6.3%低下しております。

表6 病床利用率(令和3年)

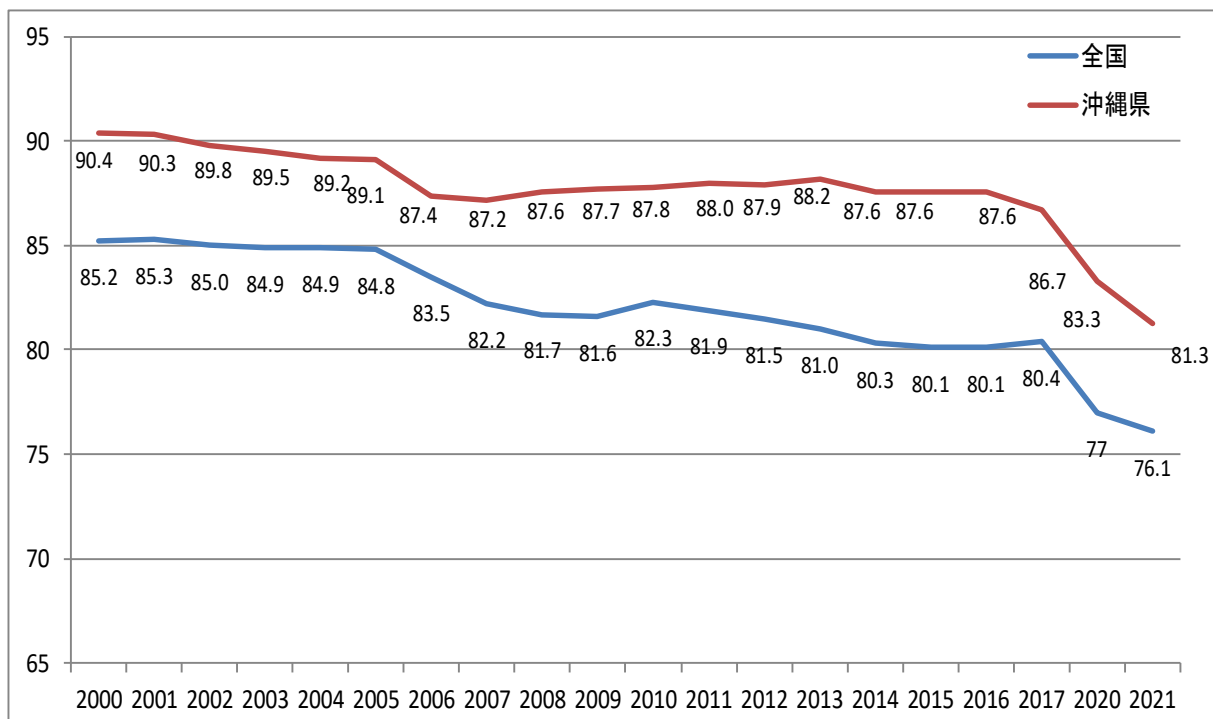
(単位:%)

	全病床	精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	介護療養病床
全国	76.1	83.6	343.8	28.9	85.8	69.8	85.9
沖縄県	81.3	85	738.3	27.2	92.7	73.4	73.4

※病院報告

図 21 病床利用率の推移

(単位:%)



※病院報告

(4) 平均在院日数

令和3年の平均在院日数は、全国 27.5 日に対して沖縄県は 29.5 日となっており、2.0 日全国より長い在院日数となっています。病床種別ごとでは、結核病床、療養病床は全国に比べて長く、それ以外の病床種別は全国平均より短い在院日数で病床が運用されています。

平成 12 年(2000 年)以降、沖縄県では全国より1～3日ほど長い在院日数で病床が運用されていますが、全国、沖縄県ともに在院日数は短縮傾向にあり、全国では 39.1 日から 27.5 日へと 11.6 日短縮し、本県は 42.8 日から 29.5 日へと 13.3 日短縮しています。

表7 平均在院日数(令和3年)

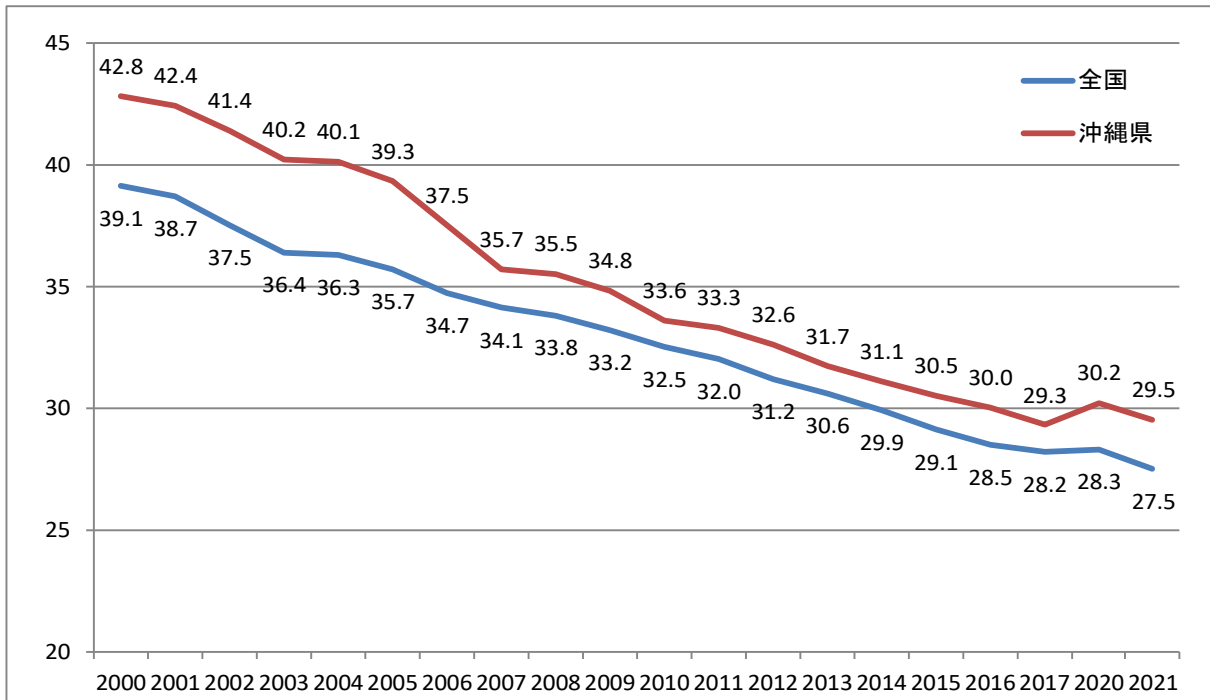
(単位:日)

	全病床	精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	介護療養病床
全国	27.5	275.1	10.1	51.3	131.1	16.1	357.4
沖縄県	29.5	240.3	9.5	58.4	140.1	15.3	320.9

※病院報告

図 22 平均在院日数の推移

(単位:日)



※病院報告

## 2 診療所、薬局

### (1) 一般診療所

令和3年10月時点の一般診療所数は912施設となっており、人口10万人あたりの数は、全国83.1施設に対して沖縄県は62.1施設で全国平均を下回っています。平成11年(1999年)以降の人口10万人あたりの施設数は増加傾向にあり、全国は72.2施設から83.1施設へ10.9施設の増、沖縄県では49.5施設から62.1施設へ12.6施設の増となっています。

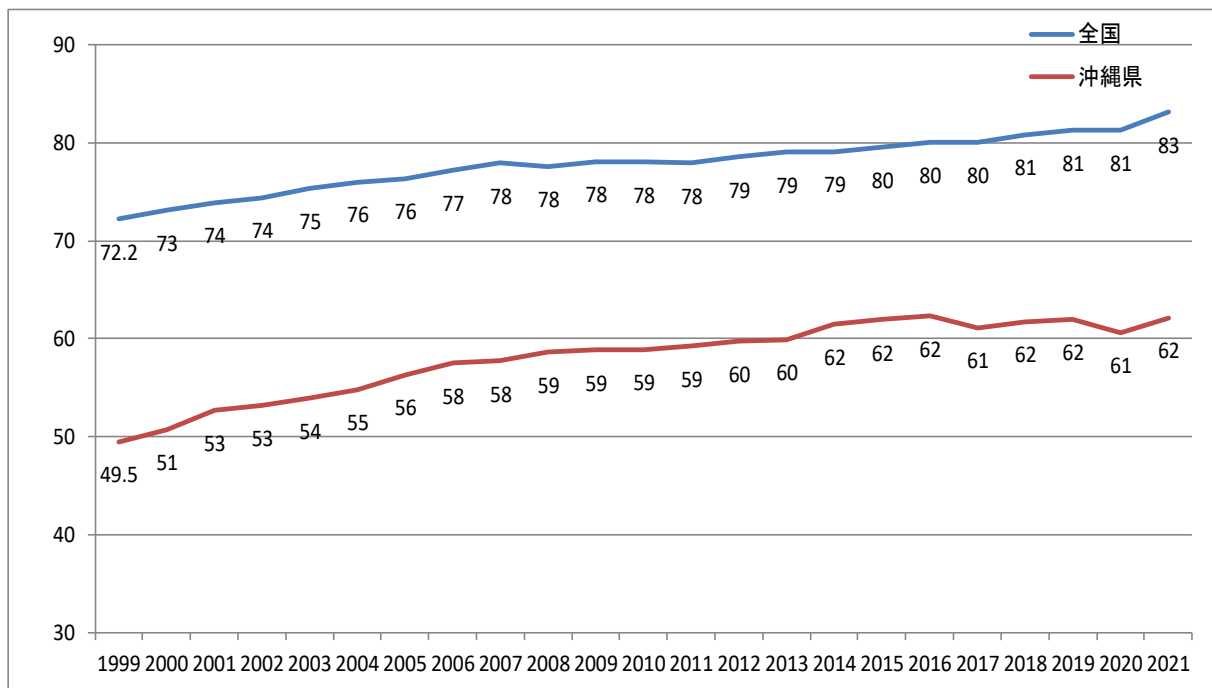
表8 一般診療所の数(令和3年(2021年)10月) (単位:施設)

	沖縄県						全国
	北部	中部	南部	宮古	八重山		
実数	912	65	238	522	39	48	104,292
人口10万人対	62.1	64.2	46.5	70.7	73.0	88.6	83.1

※医療施設調査

※推計人口(令和3年10月)

図23 一般診療所数(人口10万人あたり) (単位:施設)



※医療施設調査

(2) 歯科診療所

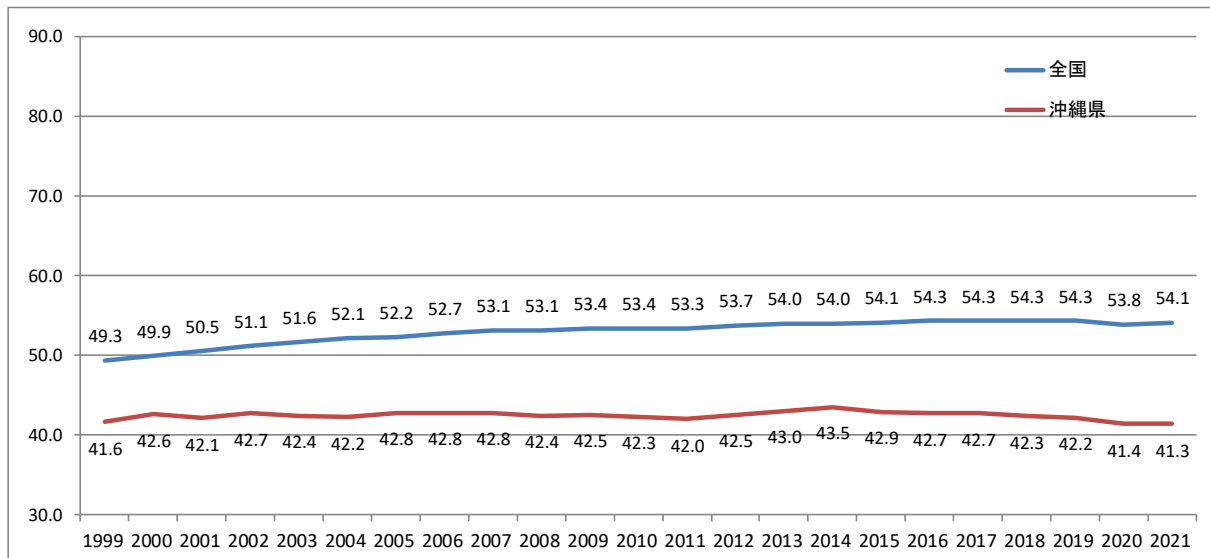
令和3年10月時点の歯科診療所数は607施設となっており、人口10万人あたりの数は、全国54.1施設に対して沖縄県は41.3施設で全国平均を下回っています。平成11年(1999年)以降の人口10万人あたりの施設数は、全国は49.3施設から54.1施設へ4.8施設の増、沖縄県では平成11年(1999年)以降、41~43施設前後となっており、ほぼ横ばいで推移しています。

表9 歯科診療所の数(令和3年(2021年)10月) (単位:施設)

	沖縄県	北部	中部	南部	宮古	八重山	全国
実数	607	38	187	333	26	23	67,899
人口10万人対	41.3	37.5	36.5	45.1	48.7	42.4	54.1

※医療施設調査  
 ※推計人口(令和3年10月)

図24 歯科診療所数(人口10万人あたり) (単位:施設)



※医療施設調査

(3) 薬局

令和3年度末時点の薬局数は 577 施設となっており、人口 10 万人あたりの数は、全国 49.2 施設に対して沖縄県は 39.3 施設で全国平均を下回っています。平成 11 年（1999 年）以降の人口 10 万人あたりの施設数は、全国は 35.7 施設から 49.2 施設へ 13.5 施設増加していますが、沖縄県は 42.2 施設から 39.3 施設へ 2.9 施設減少しています。

表 10 薬局の数(令和3年度末)

(単位:施設)

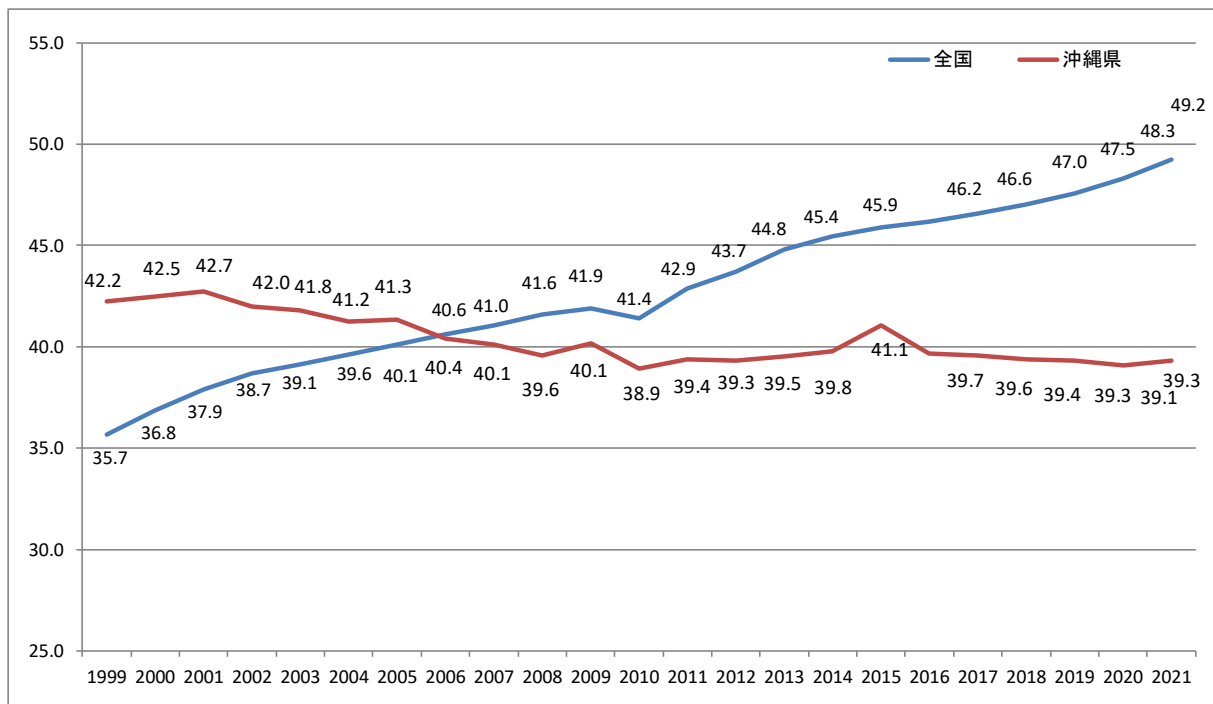
	沖縄県	北部	中部	南部	宮古	八重山	全国
実数	577	41	169	329	16	22	61,791
人口10万人対	39.3	40.5	33.0	44.5	29.9	40.6	49.2

※衛生行政報告例

※推計人口(令和3年10月)

図 25 薬局の数(人口 10 万人)

(単位:施設)



※衛生行政報告例

※推計人口(令和3年10月)

### 3 医療圏別の状況

人口 10 万人あたりの病院の病床数は、県全体では全国を上まわっていますが、二次医療圏ごとにみると、中部、八重山圏域については全国を下回っています。一般診療所については南部、宮古圏域を除いて、歯科診療所については全ての医療圏で全国より少ない数となっています。

表 11 二次医療圏ごとの医療施設数 (単位:施設、床)

医療圏	区分	病院		一般診療所		歯科診療所	薬局
		施設数	病床数	施設数	病床数		
北部	実数	9	1,835	65	34	38	41
	人口10万人対	9	1,813	64	34	38	41
中部	実数	28	5,985	238	162	187	169
	人口10万人対	5	1,168	46	32	37	33
南部	実数	45	9,553	522	530	333	329
	人口10万人対	6	1,293	71	72	45	45
宮古	実数	4	758	39	70	26	16
	人口10万人対	7	1,419	73	131	49	31
八重山	実数	3	474	48	24	23	22
	人口10万人対	6	875	89	44	42	39
県計	実数	89	18,605	912	820	607	577
	人口10万人対	6	1,274	62	56	42	40
全国	実数	8,205	1,500,057	104,292	83,668	67,899	61,791
	人口10万人対	7	1,195	83	67	54	49

※医療施設調査

※推計人口(令和3年10月現在)